

上坂原子力委員会委員長海外出張報告

令和6年10月15日

内閣府原子力政策担当室

1. 出張先

オーストリア共和国(ウィーン)、ハンガリー(セゲド)

2. 出張期間

令和6年9月14日(土)～22日(日)

3. 渡航目的

ウィーンで開催される第68回国際原子力機関(IAEA)総会に政府代表として出席し、一般討論演説を行うとともに、各国の原子力部門要人及びIAEA高官との意見交換、日本国政府代表及び在ウィーン国際機関日本政府代表部大使主催レセプションでの挨拶、「日本ブース」オープニングセレモニーでの挨拶、内閣府・原子力委員会主催のサイドイベント「転移がんにも有効とされる α 線放出核種を用いた核医学治療の臨床研究と社会実装」での挨拶等を行う。

4. 主要日程

9月14日(土)東京発 →

15日(日)ウィーン着

16日(月)～18日(水)

IAEA総会出席(政府代表演説)

各国原子力部門要人及びIAEA高官との意見交換

日本国政府代表及び在ウィーン国際機関日本政府代表部大使主催レセプション挨拶

「日本ブース」オープニングセレモニー挨拶

内閣府・原子力委員会主催のサイドイベント挨拶 等

19日(木)ウィーン発 → セゲド着

20日(金)～21日(土)

欧州極限レーザー研究施設(ELI-ALPS)での講演及び視察

22日(日)東京着

5. IAEA総会

第 68 回総会は、ハム・サンウク氏(韓国)を議長に選定して開催された。グテーレス 国連事務総長のメッセージが紹介されたのち、グロッシー事務局長より以下の陳述 (概要抜粋)があった。

- ✓ クック諸島とソマリアの新規加盟歓迎
- ✓ IAEA の主カイニシアチブ(*)の取組状況の紹介と各国の支援への感謝、及びさらなる支援の奨励
 - (*)…Rays of HOPE(放射線がん治療・診断に関するイニシアチブ)
 - ・Atoms4Food(食料安全保障のための原子力技術の活用)
 - ・ZODIAC(統合的人畜共通感染症行動)
 - ・NUTEC Plastics(海洋プラスチック問題への原子力科学技術の応用活用)
- ✓ 小型モジュール型原子炉 (SMR)の導入希望国への IAEA による支援
- ✓ 核融合エネルギーへの期待と IAEA の取組
- ✓ ウクライナを含む原子力安全及び核セキュリティ・保障措置の重要性
- ✓ 原子力人材育成の重要性の確認と取組の紹介
- ✓ ALPS 処理水放出に対する日本のアプローチが、関連する国際安全基準の要件と一致しているとの結論に達しており、トリチウム濃度についても、日本の規制基準値を大幅に下回り、国際安全基準に適合していることを確認、これら情報を IAEA ウェブサイト上で公開したこと

その後、各国の一般討論演説が行われた。日本は、上坂委員長が、原子力の平和的利用にかかる日本の取組(発電・非発電分野・フュージョンエネルギー)、平和的利用の裏付けとしての東京電力福島第一原子力発電所の廃炉や ALPS 処理水等を含む原子力安全・核セキュリティ・保障措置確保の重要性、北朝鮮、ウクライナを含む地域の不拡散課題等について演説を行った。

各国の演説原稿はIAEAのホームページに掲載されている。

6. IAEA総会期間中のバイ会談

【政府代表として実施】

(1)IAEA グロッシー事務局長

- ・ 上坂委員長より、冒頭、本年3月の事務局長の訪日含め、ALPS処理水に係るIAEAのコミットメント、事務局長の強いリーダーシップに敬意を表するとともに、引き続きのコミットメントの要望等を表明。
- ・ 上坂委員長とグロッシー事務局長との間で、ALPS処理水に関する連携などについて意見交換を行い、引き続き緊密に連携を行うことで一致した。

(2)米国 フルービー国家核安全保障庁長官

- ・ 上坂委員長より、冒頭、日米両国のエネルギー分野を含む原子力の平和的利用、核不拡散及び核セキュリティ分野におけるパートナーシップについて確認を行うとともに、日本のALPS処理水放出への支持に対する感謝等に言及。
- ・ 上坂委員長とフルービー長官との間で、エネルギー、人材育成をはじめとした原子力分野に関する日米協力等について意見交換を行い、両国の協力関係を一層強化することで一致した。

(3)仏国 ジャック原子力・代替エネルギー長官

- ・ 上坂委員長より、冒頭、日仏両国が核燃料サイクル政策を掲げ、原子力の平和利用のため長期にわたり協力関係を構築してきたこと、また、我が国における高速炉の実証炉開発をはじめ、原子力分野における仏国との連携の重要性等に言及するとともに、日本のALPS処理水放出への支持に対する感謝等に言及。
- ・ 上坂委員長とジャック長官との間で、両国の原子力政策の現状等について意見交換を行うとともに、高速炉開発、核燃料サイクル政策等の分野で両国間のパートナーシップをさらに拡大していくことで一致した。

(4)加国 ラボンテ天然資源省次官補

- ・ 上坂委員長より日本の原子力政策の現況を説明するとともに、日本のALPS処理水放出への支持に対する感謝等に言及。ラボンテ天然資源省次官補より、令和5年12月に開催されたCOP28の「札幌5」宣言(原子燃料サプライチェーンの確立に向けた多国間声明)における日本のリーダーシップ等に言及。
- ・ 上坂委員長とラボンテ天然資源省次官補との間で、原子力サプライチェーンをはじめとした両国の原子力政策等について意見交換を行った。

(5)印国 モハンティ原子力庁長官兼原子力委員会委員長

- ・ 上坂委員長より日本の原子力政策の現況を説明するとともに、日本のALPS処理水の海洋放出が計画的かつ安全に進んでおり、IAEA レビューミッションの結果においても安全性が改めて確認されている旨等に言及。
- ・ 上坂委員長とモハンティ原子力庁長官兼原子力委員会委員長との間で、両国の原子力政策等について意見交換を行った。

(6)欧州委員会 ガリバエネルギー総局次長

- ・ 上坂委員長より、日本のALPS処理水放出への支持に対する感謝等に言及するとともに、日本の原子力政策の現況について説明。
- ・ 上坂委員長とガリバ次長との間で、日本とEUの原子力政策等について意見交換を行った。

【原子力委員会委員長の職務として実施】

(7)IAEA技術協力局 リウ事務次長

- ・ 上坂委員長より、日本の原子力政策の現況、日本の医療用ラジオアイソトープに関する取組等を紹介するとともに、上坂委員長とリウ事務次長、F-REI 山崎理事長との間で、F-REI を含めた日本側とIAEAとの連携強化について意見交換を行った。

(8)IAEA原子力エネルギー局 計画・情報・知識管理部 ファン部長、ポラス課長

- ・ 上坂委員長より、日本の原子力政策の現況、日本で開催されたIAEA原子力マネージメントスクールの開催状況や IAEA の取組への感謝を述べるとともに、上坂委員長とファン部長、ポラス課長との間で、人材育成分野における今後の日本とIAEAとの連携等について意見交換を行った。

(9)IAEA 原子力エネルギー局 ドレース局長付(MSCFP 担当)他

- ・ 上坂委員長とドレース局長付らとの間で、原子力人材育成(特に女性活躍支援)分野における今後の日本とIAEAとの連携強化等について意見交換を行った。

(10)IAEA原子力安全・核セキュリティ局 エブラール事務次長、ピナク課長

- ・ 上坂委員長より日本のALPS処理水放出について、IAEAの分析や情報発信に謝意を述べるとともに、上坂委員長とエブラール事務次長、F-REI 山崎理事長との間で、今後の東電福島第一原子力発電所の廃炉に向けたIAEAとの連携強化等について意見交換を行った。

(11)IAEA原子力科学・応用局 モクタール事務次長

- ・ 上坂委員長より、日本の原子力政策の現況、日本の医療用ラジオアイソトープに関する取組等を紹介するとともに、上坂委員長とモクタール事務次長、F-REI 山崎理事長との間で、医療用ラジオアイソトープに関する日本側とIAEAとの連携強化等について意見交換を行った。

(12)IAEA原子力保障措置局 実施B部 桐生部長

- ・ 上坂委員長と桐生部長との間で、IAEAの保障措置対応や国際機関における日本人の活躍等について意見交換を行った。

7. その他(IAEA 総会)

- 上坂委員長及び海部在ウィーン国際機関日本政府代表部大使は、原子力の平和利用を通じたグローバルな課題への我が国の貢献や、東電福島第一原子力発電所対応、福島の復興等について国際的な理解の増進を図るためのレセプションを主催。上坂委員長は、レセプションの開催にあたり、ALPS処理水の海洋放出が計画的かつ安全に行われていることや、福島の復興等についてスピーチを行った。また、海部大使から挨拶を行った。
- 上坂委員長は、日本の政府や原子力関連企業の取組を紹介する「日本ブース」のオープニングセレモニーにおいて、脱炭素化の推進、エネルギー情勢の変化に対応した原子力のイノベーションの重要性や期待等についてスピーチを行った。
- 上坂委員長は内閣府・日本原子力委員会が主催するIAEA総会サイドイベント「転移がんの有効とされる α 線放出核種を用いた核医学治療の臨床研究と社会実装」において、 α 線放出核種を用いたがん治療に関する研究が世界各国で加速している現状や将来への期待、我が国におけるラジオアイソトープの主要な核種の国産化に向けた取組状況、本イベントが核医学治療のさらなる前進に貢献する期待や国際連携のさらなる緊密化への期待等についてスピーチを行った。

8. 欧州極限レーザー研究施設 (ELI-ALPS)での講演及び視察

上坂委員長は、欧州極限レーザー研究施設 (ELI-ALPS)を視察し、同研究施設で行われたセミナーにおいて、日本の原子力政策の現状等について講演を行った。

以上